

町内3小学校の親睦と交流を深め自己の記録へ挑戦！
「第48回 只見町小学校体育交歓会」開催

9月28日、町内各小学校の親睦と交流を深める陸上競技「小学校体育交歓会」が町下運動広場で行われ、只見・朝日・明和小学校の5・6年生約70名が参加しました。

大会では、朝日小6年の岩佐乃杏さんが100m、走り幅跳び、リレーの3種目で優勝し、見事3冠に輝きました。また、男子80mハードルでは、朝日小6年の渡部悠行くんが14秒7という大会タイ記録で優勝しました。

参加した児童全員が練習の成果を発揮し、素晴らしい活躍を見せていました。大会の入賞記録は下記のとおりです。



▲3冠に輝いた朝日小・岩佐乃杏さん(右)の100m決勝



▲大会タイ記録で優勝した朝日小・渡部悠行くんのハードル



▲走り高跳びで優勝した明和小6年の飯塚妃さん



▲1000mと走り高跳びで優勝した只見小・五十嵐零生くんの1000m走

第48回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表(3位まで)※敬称略

	種目	1000m(男子) 800m(女子)	100m	80mハードル	4×100m リレー	走り幅跳び	走り高跳び	ソフトボール投げ
男 子	1	五十嵐 零生(只・6) 3分37秒2	新國 蒼空(只・6) 14秒6	渡部 悠行(朝・6) 14秒7(大会タイ)	明和A 1分02秒5	新國 蒼空(只・6) 405cm	五十嵐 零生(只・6) 122cm	横山 敬都(明・5) 55m25cm
	2	平野 奏汰(明・6) 3分44秒0	横山 敬都(明・5) 15秒1	目黒 琳太郎(明・6) 15秒0	只見A 1分04秒2	渡部 琉生(朝・5) 366cm	平野 奏汰(明・6) 115cm	目黒 悠斗(朝・6) 52m7cm
	3	印南 奏詩(明・5) 3分51秒9	渡部 琉生(朝・5) 15秒3	酒井 駿(明・6) 15秒2	朝日A 1分04秒9	目黒 咲翔(朝・6) 345cm	渡部 悠行(朝・6) 113cm	酒井 駿(明・6) 43m98cm
女 子	1	齋藤 椿(只・6) 3分00秒1	岩佐 乃杏(朝・6) 15秒2	橋川 彩希(明・6) 16秒4	朝日A 1分05秒0	岩佐 乃杏(朝・6) 355cm	飯塚 妃(明・6) 115cm	山内 ひかり(明・6) 39m9cm
	2	梁取 瑠奈(朝・6) 3分05秒6	松永 佳音(只・6) 15秒4	吉津 滯里(朝・6) 16秒5	只見A 1分06秒2	矢沢 実優(明・5) 313cm	吉津 滯里(朝・6) 110cm	新國 夢萌(只・5) 38m41cm
	3	三瓶 咲季(朝・6) 3分11秒9	矢沢 実優(明・5) 15秒7	酒井 麗(只・5) 16秒7	明和A 1分07秒4	松永 佳音(只・6) 305cm	酒井 麗(只・5) 105cm	渡部 美空(朝・6) 33m16cm

※氏名(学校名・学年)です。なお、学校名は只/只見小学校、朝/朝日小学校、明/明和小学校の略です。

町内外の43チームがタスキをつなぎゴールを目指す
第56回 只見町駅伝競走大会



▲午前10時、役場駅前庁舎前を43チーム一斉にスタートする選手の皆さん



▲沿道からの声援に応えるジャンクスキーヤーの道山健さん

10月14日、只見町と只見町体育協会が主催する「第56回只見町駅伝競走大会」が行われ、町内外から43チームが参加し、1本のタスキをつないでゴールを目指しました。今大会は、「只見町役場駅前庁舎」前県道を発着点に長浜・亀岡・小林地区を折り返す3コースで開催されました。

開会式で鈴木好行体育協会会長は「今年は全43チームの参加があり、多くが町外のチーム。大会を盛り上げていただき感謝いたします。それぞれ目標に向かって頑張ってください」と挨拶され、午前10時に43チームが役場駅前庁舎前を二斉にスタートしました。

大会の成績とレースの様子は、次のとおりです。



▲タスキをつなく只見中駅伝部男子チームの山内太喜選手と横山皓大選手

大会成績(上位3位まで)

◆中学生男子の部

- 1位 若松第四中学校
- 2位 南会津中学校A
- 3位 只見中学校駅伝部男子

◆中学生女子の部

- 1位 若松第四中学校
- 2位 只見中学校駅伝部女子

◆一般女子の部

- 1位 南会津高校B
- 2位 うるわし☆レディース
- 3位 南会津高校バレー部

◆男女混成の部

- 1位 金山ランニングクラブ
- 2位 JA会津よつば坂下
- 3位 坪井ランナーズ

◆一般男子の部

- 1位 会津中央病院Aチーム
- 2位 南会津高校A
- 3位 荒海ロングランクラブ

大人気の「とん汁」コーナー



▲美味しいとん汁を振る舞った食改、只見ランナーズの皆さん



▲仮装しながらゴールし大会を盛り上げたJA会津よつば高田支店チームのアンカー・佐瀬理衣選手

福島県畳工業組合南会津支部が

町内の保育所に畳20枚を寄贈

10月2日、福島県畳工業組合南会津支部長の室井秀明さん（株室井畳店装飾センター・南会津町）と同組合に加盟する赤塚保夫さん（赤塚畳店・長浜）が明和保育所を訪れ、半畳の畳20枚を寄贈されました。

これは、9月24日の「畳の日」に合わせて行われたもので、畳離れが進む中、畳の良さを再確認してもらうことを目的に贈られました。

同保育所に畳を届けた室井さんと赤塚さんは「小さいうちから畳に親しみ、畳の良さを覚えてほしい」と話しました。畳は町内3保育所で活用される予定です。



▲畳を贈呈した室井さん(後列左)と赤塚さん(同右)と明和保育所さくら組の園児たち

本格的な演劇を鑑賞

只見町「家庭劇場」を開催

10月2日、「只見町家庭劇場」が只見中学校体育館で開かれ、町内の保育所園児や小学校児童、町民など約300名が鑑賞しました。

これは、本格的な舞台芸術に親しむために教育委員会が開催しているもので、今年は東京都から劇団エンゼルの方々が「はじめに見えたもの」という演目で公演されました。

公演は、野良犬の主人公ククと目の見えない花売りの少女ミミを描いたストーリーで、笑いあり涙ありの舞台を鑑賞した児童からは「ククとミミが最後に出会えたところが感動した」との声が聞かれました。



▲本格的な舞台を鑑賞することができた家庭劇場

各小・中学校の連携を深める

町内3小学校「合同授業」開催

10月11日、来年度中学校に進学予定の町内3小学校6年生42名を対象とした「合同授業」が只見中学校で行われました。これは、各小学校の横のつながりや小・中学校の円滑な連携を深める

とともに、進学する児童の戸惑いや不安を軽減することを目的に、町教委と町小中学校長協議会が初めて企画しました。授業は、只見中の遠藤学先生と朝日小の木戸裕治先生による数学の基礎的な授業が行われ、児童たちはグループになって学んでいました。参加した児童は「苦手な算数も楽しく学べた。中学校ではみんなと楽しく学校生活を送りたい」と話していました。



▲修学旅行や体育交歓会以外では初となる3小学校合同の授業

隊員自線で只見町を考える

地域おこし協力隊と意見交換会

10月11日、町内で活動する6名の地域おこし協力隊との意見交換会が役場で行われ、隊員5名と町関係者9名が出席しました。

意見交換会では、橋本副町長が「これまで活動してきた隊員の目線で忌憚のないご意見を頂戴したい」とあいさつし、続いて観光・教育分野で活動する隊員から、インバウンド受入体制整備やキャンプ場などの誘客・整備、高校生を対象にした学習塾や高校振興対策などの活動報告がそれぞれ行われました。報告後は、活動での問題点や只見町の生活などに関して、活発な意見交換が行われました。



▲活発な意見交換を行った隊員(左列)と関係者(右列)の皆さん

危険予測をトレーニング

小林サロンで「体験型交通教室」

10月16日、小林地区の65歳以上の地域住民が気軽に集い活動する地域づくりサロン事業「小林サロン」で体験型交通教室が開かれ、約30名が参加しました。これは、明和駐在所と小林サロンが連携して企画したもので、県警本部交通企画課の職員2名を講師に迎え、郡内で初となる「危険予測トレーニング装置」を活用した交通教室が行われました。参加者は、車の運転映像を見ながら危険と感じた場面でリモコンのボタンを押して危険予測の判断を養い、講師からは「運転者も歩行者も広い視野で危険を早く察知することが重要」と伝えられました。



▲危険予測の判断や詐欺被害防止などについて学んだ小林サロンの交通教室

戊辰150周年記念事業

「八丁沖ウォーク参加ツアー」開催

10月13日、新潟県長岡市の八丁沖ウォークに、只見町民15名が参加しました。これは、奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会が主催したツアーで、長岡市と歴史交流を目的に実施したものです。八丁沖ウォークでは、戊辰戦争時に河井継之助が長岡藩士を率いて大沼沢地だった八丁沖を渡河し、長岡城を奪還した当時のルート約6kmを地元ガイドの説明を受けながら長岡市民などと歩きました。ウォーク後は、長岡市河井継之助記念館を見学し、参加者は河井継之助や歴史について理解を深めていました。



▲秋晴れの八丁沖を巡った参加者の皆さん

町制施行60周年記念事業に向け

「企画運営委員会」を開催

昭和34年8月1日に町制が施行され、平成31年に満60年を迎える只見町では、町内各団体及び町職員による「町制施行60周年記念事業企画運営委員会」を組織し、記念事業の実施に向けてスタートしました。この記念事業は、町民の方々と共にこれまでの歩みを振り返り、さらなる町政の伸展を願って開催するもので、町民の方々の意見や提案を反映するため9月7日からこれまで2回の企画会議を開催しました。10月17日の第2回会議では、町民の方々から寄せられた記念事業アイデアについて検討しました。



▲企画運営委員会であいさつする菅家町長

夫婦で築いた半世紀を称える

しあわせ金婚夫婦表彰

10月24日、福島民報社と県老人クラブ連合会が主催する「しあわせ金婚夫婦表彰式」が季の郷湯ら里で行われ、町内20組の夫婦が金婚表彰を受けました。表彰式では、角田睦町老人クラブ連合会長が「この表彰を機に夫婦共々長生きし、地域社会に貢献してください」とあいさつし、菅家町長と小池誠福島民報社南会津支局長とともに、町内3地区の代表に表彰状などを手渡ししました。金婚夫婦を代表し菅家玄己さん、ツヤさん夫妻が「これからも町の発展のために尽くしたい」と謝辞を述べられました。



▲謝辞を述べる菅家玄己さん、ツヤさんご夫妻